

「ぎょさいでぷらす！安心経営」運動最終年度 上半期の実績

～新運動に向けて、最終年度の更なる躍進を！～

（積立ぷらすの払戻実績）

平成 25 年度上半期における積立ぷらすの払戻金（漁業者積立金 + 国補助。以下同じ。）は、208 億円（前年度同期比 219%）と、早くも昨年度（平成 24 年度）1 年間の合計 202 億円を上回る払戻実績となりました。

漁獲に係る払戻金は 75 億円、前年度同期比 175%となっており、漁業種類別には、まき網、小型合併を中心に、長崎県、北海道、鳥取県などでの払戻が多額となっています。

養殖に係る払戻金は 84 億円、前年度同期比 515%となっており、平成 24 年度のはまち、かんぱちの魚価が大幅に下落したことにより、はまち 49 億円（前年度同期比 317%）、かんぱち 35 億円（前年払戻なし）で、鹿児島県、大分県、愛媛県などでの払戻となっています。

特定養殖に係る払戻金は 49 億円、前年度同期比 137%で、種類別には、のり 38 億円（前年度同期比 129%）、わかめ 3 億円（同 531%）となっており、のりは平成 24 年漁期に兵庫県、佐賀県、熊本県などで栄養塩不足による色落ちが発生したことなどにより生産金額が減少し、2 年連続して多額の払戻に該当しました。

平成 25 年度上半期 積立ぷらす払戻状況（平成 25 年 9 月末時点）
（百万円）

事業区分	平成 25 年度	平成 24 年度	対比
	上半期払戻金	上半期払戻金	
漁 獲	7,462	4,273	175%
養 殖	8,428	1,636	515%
特定養殖	4,914	3,581	137%
合 計	20,803	9,490	219%

（25 年度上半期の引受実績）

「ぎょさいでぷらす！安心経営」運動の締めくくりとなる 25 年度の上半期実績は、燃油価格の高騰等により、漁業経営が厳しい中での加入推進となりましたが、共済金額でぎょさい史上最高実績を更新した前年度の上半期実績を 60 億円上回る 2,786 億円となっています。

増加の主な要因として、漁獲共済ではまき網、船曳網、いか釣り、大型・小型定置網、養殖共済では、主力魚種であるはまち、かんぱちで放養尾数の減少による自然減があったものの、くろまぐろやたいなどで新規契約や契約割合の引上げにより、前年度を上回る結果となりました。

一方で、積立ぶらすの引受実績は前年度の上半期実績を下回っています。これは、養殖共済のはまち、かんぱちの放養尾数減に伴う漁業者積立額の減少によります。

上半期の実績は増加していますが、加入率は横ばいの状況が続いています。東日本大震災から復興途上で災害への備えとして共済加入が回復に向かう中、水産基本計画の最終目標である加入率 90%を目指し、今年度の加入率目標 72%を達成すべく、下半期の主力である小型合併やかつおまぐる等の加入推進に邁進してまいります。

一人でも多くの漁業者の方に災害への備えとして利用して頂けるよう、下半期もぎょさい団体一丸となり、より一層の加入推進に取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。